

◆団体基本情報

No.	20	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市公園緑地協会		
所在地	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪一丁目3-35						
電話番号	022-293-3583		FAX番号	022-293-3605		所管 部局	建設局 百年の杜推進課
団体ホームページ	http://sendai-green-association.jp						
代表者職氏名	理事長 千葉 幸喜			設立年月日	昭和42年10月7日		
基本財産等	118,000 千円		市の出捐額(割合)	59,000 千円 (50.0 %)			
設立目的	都市緑化及び公園緑地等に関する事業を通じて、市民生活に安らぎと潤いをもたらし、あわせて緑の文化を発信する。						
事業概要	都市緑化及び公園緑地等に関する普及啓発、利用促進。 公益目的事業の推進に資するための収益事業等。						
評価対象決算期	令和5年4月1日～令和6年3月31日						

◆人員等の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	63.0 歳	62.0 歳	61.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,548 千円	5,845 千円	5,914 千円
④職員数	139 人	140 人	139 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	12 人	10 人	9 人
⑤職員平均年齢	54.5 歳	55.4 歳	55.5 歳
⑥職員平均年間給与	3,455 千円	3,187 千円	3,204 千円

◆主要財務データ

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①当期経常増減額	△ 14,352 千円	8,928 千円	1,212 千円
②当期経常外増減額	0 千円	△ 49 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 14,574 千円	8,607 千円	940 千円
④一般正味財産期末残高	115,598 千円	124,206 千円	125,146 千円
⑤指定正味財産期末残高	59,000 千円	59,000 千円	59,000 千円
⑥正味財産期末残高	174,598 千円	183,206 千円	184,146 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①市からの補助金	14,088 千円	14,528 千円	13,598 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	1,116,267 千円	1,174,103 千円	1,197,362 千円
③市に対する収入依存度	82.31 %	77.34 %	77.16 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和5年度事業費
緑化普及啓発事業	花壇づくり助成事業, 緑化コンクール事業, 記念樹交付事業	40,491 千円
公園緑地等運営事業	野草園, 太白山自然観察の森, 青葉の森緑地, 七北田公園及び各区運動施設公園等の管理運営	709,314 千円
墓園・斎場運営事業	葛岡墓園, 北山霊園, いずみ墓園及び葛岡斎場の管理運営	447,252 千円
収益事業	八木山動物公園等における売店, 食堂, 駐車場の管理運営	354,452 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	令和5年度は, 新型コロナの感染法上の位置づけの見直しに伴い, 社会の様々なニーズに応えながら積極的に事業やイベント等を実施し, 施設の利用促進を図った。また, 全国都市緑化仙台フェアの各会場において, 出展事業や仙台市及び関係機関・団体との連携事業を実施し, 緑化普及啓発事業に取り組んだ。 葛岡斎場においては, 代替施設がないことから, 感染症対策を徹底し, 安定的な稼働に努めた。	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたイベント・事業等を再開し, 創意工夫をして各種講座やイベントを開催するとともに, 全国都市緑化仙台フェアの連携事業の実施など, 緑の普及・啓発, 利用促進に積極的に取り組んだ。 引き続き次年度以降の活動の充実に期待する。
2. 業務・組織管理	協会の組織・財務強化を図ることを目的として策定した第4次中期経営計画に基づき業務を行った。正職員の採用は, 年齢構成などを考慮して社会人経験者を採用し, 組織の活性化を図るとともに, 年次有給休暇の促進に取り組み, 組織の強化を推進した。また, 「緑のネットワーク(自主事業等発表会)」を実施し, 情報の共有及びスキルアップに努めた。さらに, 法令順守の取り組みを行い, 組織管理の強化を図った。	第4次中期経営計画に基づき, 安定した運営が行われている。引き続き適切な業務体制の維持やコンプライアンス強化, 接遇改善に向けた取り組み等を継続するとともに, 職員の資質やモチベーション向上に取り組み良好な組織風土の醸成に努められたい。
3. 財務状況	令和5年度の財務状況について, 昨年度に比べて, 資産(内部留保)の減少があった。これは, 収益事業の販売事業等で物価高騰の煽りから仕入価格が上昇し, 営業純利益が減少したことによるもので, 対応として物販や食堂メニューの値上げを行ったが物価高騰の影響には不十分な対応結果となった。次年度は仕入価格や間接経費も含め販売価格等について精査し, 物価高騰等に対応して, 財務状況の安定を図る。	新型コロナウイルス感染症による入場制限等が解除されたことや, 収益の確保に努めたことにより黒字を維持しているが物価高騰の影響により黒字幅は縮減する結果となった。 今後も自主財源の確保や効率的な事業実施など, 経済の動向にもしなやかに対応しながら, より安定した経営に期待する。
4. 今後の方向性及び課題	公園緑地等に関わる公益財団法人として, 行政と市民をつなぐ役割を果たしながら, 安全で安心な市民サービスを提供する。収益事業の効率化により安定した経営基盤を構築し, 収益増加を公益事業の充実につなげ, 内外へのアピールにより, 本協会の存在価値を高める。これらを着実に実現していくため, 組織のガバナンス向上に不断の取り組みが求められる。	今後も優位性, 独自性を発揮しながら, より利用者の満足度につながる事業改善や, 収益の向上, 自主事業の取組みに積極的に努めるとともに, 職員の能力向上や管理職への積極登用など管理運営体制の充実に継続して努められたい。